

クウェート国ファルワーニーヤ県による友好姉妹交流活動の希望

2016年2月
在クウェート日本国大使館

この度、クウェート国ファルワーニーヤ県から、日本の地方自治体と交流活動を希望する旨の要望がありました。以下、ファルワーニーヤ県の概要を紹介いたします。

1. 県の概要

(1)所在地・地勢

クウェート市の南側に位置しています。1988年10月12日に制定されました。

(2)面積

190平方キロメートル

(3)人口

1,043,132人。うちクウェート人224,535人、非クウェート人818,597人。

(4)日本との時差

－6時間

2. 県の役割

国の政策を踏まえ、開発計画プロジェクト実施にかかる業務を執り行います。国の機関が行う業務との間で調整を加え、安全性の確保を重視するとともに、住民から出される苦情や要望を受け、解決に向けた対応を行います。

3. 県知事の方針

国の様々な機関との間で絶え間ない効果的な調整を図ることを通じて、県民に対して公共・社会的サービスを提供することにおいて、パイオニアたる役割を担うことを目指しています。

4. 県の戦略的目標

ファルワーニーヤ県は、今後県民に対して最高のサービスを提供できるようにするための、短期及び長期の計画を策定しています。これにより、実際の開発計画を成功に導き、県内各地において社会的及び経済的に向上させていきます。

5. 主要施設

(1)クウェート国際空港

クウェート国際空港は、クウェート市の南15.5キロに位置し、建設開始は1961年です。空港内には、旅客ターミナル、商業施設、空港業務事務所、VIPラウンジなどがあります。イラクによる侵攻のため、1990年から91年にかけて、空港は大きく破壊されました。現在では、年間7百万人の旅客が利用可能な規模を有し、同時に航空機90機が駐機可能です。滑走路は2本あり、それぞれ長さ3,400メートル及び3,500メートル、幅はともに45メートルです。

(2)クウェート大学

クウェート大学は1966年10月に完成し、理科・文学・教育学部と女子学部からなる形で同年11月に公式に開学しました。その後、法学・イスラム法学部、商業・経済・政治学部、工学・石油学部等が開設されました。現在では、学部数15、教授数1,436人、学生数28,234人に達しています。

(3)アベニューズ・モール

アベニューズ・モールは中東地域最大の商業施設です。第1フェーズとして、2007年4月にクウェート国首長のシェイク・サバーハ・アハマド・ジャービル・サバーハ殿下出席の下、公式にオープンしました。

(4)クウェート動物園

クウェート動物園は、珍しい動物や鳥類1,606種が飼育されている国内で最も注目度の高い場所の一つで、年間数十万人が訪れます。

(5)ジャービル国際スタジアム

ジャービル・アハマド国際スタジアムは、約6万人の観客収容可能なクウェート国内最大のスタジアムで、多目的スポーツ・スタジアムとして作られています。陸上競技トラックや水泳プールに加え、会議室やVIP用ヘリポートも完備しています。

〔お問い合わせ先〕

外務省大臣官房総務課地方連携推進室

電話：03-5501-8491

メール：gaimu-renkei@mofa.go.jp

なお、ファルワーニーヤ県以外の都市でも日本の自治体と姉妹都市提携を希望している都市があります。詳しくは以下の姉妹都市募集情報をご覧ください。

外務省ホームページ内「グローバル外交ネット」

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/action/sf_city.html

(了)